

## 第三回

# 患者視点の医療情報を活用する データ・マーケティングシンポジウム 開催案内

2011年3月7日(月) 17:00 開演

トラストシティカンファレンス・丸の内(JR東京駅徒歩1分)

### 講師:

- ・医療法人鉄蕉会 亀田総合病院薬剤部長  
薬剤師・薬学博士 佐々木 忠徳 氏
- ・メドピア株式会社 代表取締役社長  
医師・医学博士 石見 陽 氏
- ・日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社  
グループマネージャー 薬剤師 加藤 久幸 氏

## 第三回

# 患者視点の医療情報を活用する データ・マーケティングシンポジウム

日程：2011年3月7日(月) 16:30 受付開始

会場：トラストシティカンファレンス・丸の内(JR東京駅日本橋口徒歩1分)

主催：株式会社 医療情報総合研究所

## 開催趣旨

これまでの日本国内の製薬企業の営業・マーケティング活動では、医師に対する活動と医療機関への納入情報が重視されてきました。そのモデルの中では、医療の最終消費者である患者の声や行動が十分に反映されているとは言えませんでした。

製剤技術等では先行している製薬会社の患者志向の企業活動ですが、営業・マーケティング活動においても医師の処方実態、患者の意見や行動理由をさらに取り入れることで、顧客満足の最大化、ひいては売上規模の最大化を実現できる可能性があるのではないのでしょうか。

このような背景の下、医師の投与履歴である処方データを代表とする患者に紐づくデータを活用した製薬マーケティング活動の進展を支援すべく、今回のシンポジウムを開催することと致しました。皆様と共に製薬業界の新しいデータに支えられた製薬マーケティングのあり方を考えていきたいと思っております。趣旨にご賛同頂き、シンポジウムにご参加いただけますことをお願いいたします。

## 第三回 シンポジウム講演

『社会保障と医薬品情報 ～患者視点に立った情報連携プラットフォームづくり～』

医療法人鉄蕉会(亀田メディカルセンター)医療管理本部

薬剤管理部長/治験管理センター長/亀田総合病院薬剤部長 薬剤師・薬学博士 佐々木 忠徳 氏

『Health2.0時代の新しいメディアから出てくる「医師の生の声」を医療業界のマーケティングに活かすには?』

メディア株式会社

代表取締役社長

医師・医学博士 石見 陽 氏

『処方箋データから見えるもの(MR活動にどう活かす事が出来るか)』

日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 営業本部

流通政策部 医科・調剤企画グループ グループマネージャー

薬剤師

加藤 久幸 氏

## シンポジウムで議論するテーマ

- ◆ 処方情報を活用したマーケティングの考え方
- ◆ 各種医薬品市場データ(卸出荷データ、処方データ等)の特徴と使い方
- ◆ 製薬企業のマーケティング・調査部門における市場データの利活用例
- ◆ 同プロダクトマネジメント部門における市場データの利活用例
- ◆ 医薬関連サービス業における市場データの利活用例
- ◆ 行政/研究機関での利活用例



当シンポジウムのご案内は、製薬企業の営業、マーケティング、事業企画部門のスタッフ、管理職、役員の皆様、ならびに医薬関連サービス企業のスタッフ、管理職、役員の皆様 にお送りしております。

# 第三回 患者視点の医療情報を活用する データ・マーケティングシンポジウム

## スケジュール

日程：2011年3月7日(月)

16:30 ~	受付開始
17:00 ~ 17:10	ご挨拶: 株式会社 医療情報総合研究所 代表取締役社長 大橋 青史
17:10 ~ 17:55	ご講演1: 医療法人鉄蕉会 亀田メディカルセンター 部長 薬剤師 佐々木 忠徳 氏
18:00 ~ 18:45	ご講演2: メドピア株式会社 代表取締役 社長 石見 陽 氏
18:45 ~ 19:00	休憩
19:00 ~ 19:45	ご講演3: 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 グループマネージャー 加藤 久幸 氏
19:45 ~ 19:50	閉会のご挨拶
20:00 ~ 21:00	懇親会

都合により講演者と演題は変更になる場合がございます。

## 会場

トラストシティ カンファレンス・丸の内  
東京都千代田区丸の内1-8-1  
丸の内トラストタワー N館3階  
TEL: 03-6212-5211

## 交通のご案内

JR 「東京駅」日本橋口より徒歩1分  
地下鉄 「大手町駅」B7出口より徒歩2分  
「日本橋駅」A3出口より徒歩4分

## 参加費とお申込方法について

事前振込  
・第三回申込 6,000円

当日現金でのお支払い  
・第三回申込 7,000円

資料代、懇親会代、消費税含まれます。



- ◆ 別紙「参加申込用紙」に必要事項をご記入の上、ファックス(03-5802-4550)、または同内容を e-mail( dms@jmiri.jp )でお申込ください。
- ◆ 申込用紙はホームページ( <http://www.jmiri.jp/> )からもダウンロードできます。
- ◆ 第三回の申込期限は 2011年2月28日 です。なお、会場の都合により製薬企業以外の方はお申込をお断りさせていただく場合がございますので、予めご了承くださいませようお願いします。
- ◆ 参加費は「振込」、または「当日現金」でお支払いください。振込の場合はお申込を承り次第、請求書を発行しますのでお手続きをお願いいたします。但し、支払い方法に関わらず、ご参加の申込は必ず事前をお願いいたします。
- ◆ ご不明な点は、株式会社医療情報総合研究所 (TEL:03-5842-2477、e-mail: dms@jmiri.jp、担当 畠山) までお問い合わせください。

主催：株式会社 医療情報総合研究所



# 患者視点の医療情報を活用する データ・マーケティングシンポジウム

## ご講演内容

『社会保障と医薬品情報 ～患者視点に立った情報連携プラットフォームづくり～』

**講師** : 佐々木 忠徳 氏 (薬剤師・薬学博士)  
医療法人 鉄蕉会(亀田メディカルセンター)医療管理本部  
薬剤管理部長 / 治験管理センター長 / 亀田総合病院薬剤部長

### 略歴

1979年 東京薬科大学 薬学部薬学科卒業、1979年 昭和大学藤が丘病院薬局に入局  
2002年 昭和大学薬学部 臨床薬学教室准教授、2003年 亀田メディカルセンター 現在に至る。  
千葉県病院薬剤師会常任理事副会長 / 日本薬剤学会評議員 / 日本医療薬学会代議員  
日本TDM学会評議員 / 日本ジェネリック医薬品学会理事 / 日本ジェネリック協議会監事他

### 講演の概要

2010年に閣議決定された新成長戦略では「強い経済」、「強い財政」、「強い社会保障」の一体的実現であり、とりわけライフイノベーションによる健康大国の実現である。超高齢化社会を迎える我が国にとって、医療が深刻化することは避けられない状況下で社会保障はいかなる方向に向かっていくのであろうか。限りある財源をいかに有効に使っていくかが問われている中、医薬品を取り扱うものに何が求められ、どんな情報が必要なのか、そして医療情報の活用について考えてみたい。

『Health2.0時代の新しいメディアから出てくる「医師の生の声」を医療業界のマーケティングに活かすには?』

**講師** : 石見 陽 氏 (医師・医学博士)  
メディア株式会社 代表取締役 社長

### 略歴

1999年3月 信州大医学部卒業、1999年4月 東京女子医科大学循環器内科入局  
2004年12月 株式会社メディカル・オプリージュ(現メディア株式会社)を設立  
2007年8月 医師限定コミュニティサイト「Next Doctors(現MedPeer)」を設立 現在に至る。  
医師、医学博士、日本内科学会認定内科医

### 講演の概要

Facebook, mixiに代表されるソーシャル・メディアでは、消費者が独立した形で意見交換を行っており、近年その新しいメディアを利用したマーケティング手法が注目されている。現役の医師が運営する医師限定プロフェッショナル・ネットワーク「MedPeer」では、3年前より運営が開始され、現会員数は約35,000名である。本講演では、このネットワーク内での新サービスである「薬剤評価掲示板」を利用して、製薬企業がどのように「医師の生の声」を傾聴し、マーケティングに役立てていくべきなのか? 具体的なデモンストレーションを例に挙げて解説する。

『処方箋データから見えるもの (MR活動にどう活かす事が出来るか)』

**講師** : 加藤 久幸 氏 (薬剤師)  
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社営業本部  
流通政策部 医科・調剤企画グループグループマネージャー

### 略歴

1954年4月東京生まれ、1978年3月 昭和薬科大学薬学部卒業  
1978年4月 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社入社  
MR歴25年、提携業務1年、特約店担当3年を経て、2006年1月から現職

### 講演の概要

製薬企業MRの活動方針を定め具体的な戦術を企画するうえで、処方箋データは重要なツールとなってきた。医薬品納入データと処方箋データの違いから、医師及び患者視点の真の医薬品の需要が見えてくる。処方箋データ解析と調剤薬局・薬剤師の活動を組み合わせることで、調剤薬局のプロモーションチャンネルとしての役割が創出される可能性も見えてきた。処方箋データ活用から見えるものをどのように日々のMR活動に活かすかを実例を交えてご紹介したい。

# 第三回 患者視点の医療情報を活用するデータ・マーケティング シンポジウム 参加申込用紙

FAX宛先 : 03-5802-4550 / E-mail : [dms@jmiri.jp](mailto:dms@jmiri.jp)  
 申込締切り / 2011年2月28日

参加シンポジウム	<input type="checkbox"/> 第三回
第三回 懇親会	<input type="checkbox"/> ご出席 <input type="checkbox"/> ご欠席
支払い方法	<input type="checkbox"/> 事前振込 <input type="checkbox"/> 当日現金でのお支払い

貴社名	
ご所属・役職名	
ご氏名	(ふりがな) .....
ご住所	〒      - .....
Tel	
Fax	
E-mailアドレス	

- ◆ 上記に必要事項をご記入の上、ファックス( 03-5802-4550 )、または同内容を e-mail( [dms@jmiri.jp](mailto:dms@jmiri.jp) )でお申込ください。  
 ・申込用紙はホームページ ( <http://www.jmiri.jp/> ) からダウンロードできます。
- ◆ 第三回の申込期限は 2011年2月28日です。なお、会場の都合により製薬企業以外の方はお申込をお断りさせていただく場合がございますので、予めご了承くださいませようお願いいたします。
- ◆ 参加費について  
 ・事前振込・・・第三回申込 6,000円(資料代、懇親会費、消費税含む)  
 ・当日現金でお支払い・・・第三回申込 7,000円(資料代、懇親会費、消費税含む)  
 参加費のお支払について  
 ・「銀行振込」または「当日現金」でお支払いください。振込の場合はお申込を承り次第、請求書を発行しますのでお手続きをお願いいたします。但し、支払い方法に関わらず、ご参加の申込は必ず事前をお願いいたします。
- ◆ ご不明な点は、株式会社 医療情報総合研究所 (TEL:03-5842-2477、e-mail: [dms@jmiri.jp](mailto:dms@jmiri.jp)、担当 畠山) までお問い合わせください。